

研究授業：「子どもたちが主役の授業【わ・さ・び】を目指して！

教育研究所では、国語科班と算数・数学科班の中小1名ずつの研究所員が、10月と11月に研究成果を検証する研究授業を行ないます。早速、10月5日（木）には、西小学校の井手省吾教諭が算数科の授業を行いました。今回は、「子どもたちが主役の授業」の実現を図るために、第1時に「パフォーマンス課題」を用いています。これは、単元を通して児童が追及していきたいと思う問いを子ども自身が見い出すことが重要と考えたからです。授業では、Jamboard や思考ツールを活用して、主体的・対話的で深い学びを進めていきました。ICTの活用で学習の質が上がっており、「子どもたちが主役の授業」に向かって教師が脇役に徹する「学習過程」の質の向上が研究のポイントとなっています。



【パフォーマンス課題での導入】



【タブレットを使って個人思考】



【思考ツールを使っての説明】

第6学年4組 算数科学習指導案

都城市立西小学校
授業者 井手 省吾

1 単元名 図形の拡大と縮小

5 本時の目標

- 単元の課題に対する問いを考えたり、話し合ったりしようとする。【主体的に学習に取り組む態度】
- 「拡大する」「縮小する」の意味を理解する。【知識・技能】

6 学習指導過程

段階	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	評価基準 【観点】(評価の方法)	ICT 活用	参観の視点
導入 (5分)	1 単元の課題を確認する。(5分)				
	<p>右の地図は、修学旅行の班別自主研修で回る鹿児島市内を縮小したものです。この地図を拡大すると、実際の大きさになります。グループごとに選んだ見学場所を、できるだけ短い道のりで回るための計画を立て、その長さを求めましょう。</p> <p>【条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 10000分の1の縮図を使います。 ○ 交通手段は、徒歩のみです。 ○ スタートとゴールは「中央公園」とします。 			鹿児島市内地図	
展開前段 (15分)	2 単元の課題に対する問いを話し合う。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 付箋に問いを書かせることで、単元計画を立てられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の課題についての問いを話し合ったり、付箋に書き込んだり、分類したりしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・Jamboard) 	Jamboard	<ul style="list-style-type: none"> ・Jamboardは視覚的な問いの共有につながったか。
	3 単元計画を立てる。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思考ツールを使って分類させることで、簡潔に発言できるようにする。 			

パフォーマンス課題とは、様々な知識やスキルを総合して使いこなすことを求めるような複雑な課題です。
※ 修学旅行と関連付けています。

本通信についてのお問合せ

■都城市教育研究所 市役所南別館3階 電話：23-7167（所長直通） 23-9544（学校教育課）■